

自 己 評 価 表

愛媛県立松山工業高等学校（全日制課程）

学校番号 25

教育方針	教育基本法の本質にのっとり、人格の完成を目指し、民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養い、世界の平和と人類の福祉の向上に貢献する豊かな人間性と創造性を備えた実践的な技術者を養成する。	重点目標	1 生徒の個性を尊重し、豊かな創造性と自己肯定感の育成 2 基本的な生活習慣の確立と自律心の育成 3 分かる授業の展開と基礎・基本の定着 4 資格取得の実践とキャリア教育の充実 5 部活動の充実と個性豊かな人間性確立 6 地域との連携とボランティア活動推進
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	教科指導の充実	タブレットを活用する日80%以上を目指す。	B	年間の平均活用率は89.2%である。	1・2年生がタブレットを使用できる環境になれば、その活用状況も広がり、活用率も上がると思われる。より、活用方法を研究し実践する。
	資格取得の充実	各種資格・検定試験の合格者総数5500人以上を目指す。	B	取得総数が5,319人である。昨年度の目標5000人は達成できたが、本年度目標数値を500人高めたため達成できていない。	2年生での資格取得状況が、総数やジュニアマイスターの取得に大きく関わってくるため、1・2年生での資格取得奨励を強化する。
生徒指導	基本的な生活指導の充実	自ら進んで正しい挨拶のできる生徒100%を目指す。	A	ほとんどの生徒が、相手にあった正しい挨拶ができている。学校評価アンケートでの評価も高い。	時や場所、相手に合わせた正しい挨拶ができるよう学校生活の様々な場面で指導を行っていく。
	交通安全指導の充実	登下校指導や交通安全教育の充実により、交通事故発生数0件を目指す。	C	24件の交通事故報告があった。1学期は4件であったが、2学期に増加した。特に、11月は8件となった。命に関わる重大交通事故は発生していない。	警察や交通安全協会との連携を密にし、交通安全教室等での啓発を通じ、交通事故の防止に努める。
進路指導	就職指導の充実	就職希望者の就職率100%を目指す。	A	就職希望者の就職率は100%である。	昨年度より1次合格率が上がっており良い結果となっている。今後は、1次合格率の100%を目指し、基礎学力などを身に付けさせる。また、キャリア教育を通して、早い段階から希望職種・会社名などの具体的な進路目標を設定させる。
進路指導	進学指導の充実	生徒が自主的に学習できる環境を整えることにより、国公立大学合格者30名以上を目指す。	C	学習支援クラウドサービス、タブレットの活用により自主的に学習に取り組める環境が整ってきている。国公立大学合格者は10名である。	早い段階でのオープンキャンパスへの参加などを促し、より多くの生徒に国公立大学への進学を目標にさせる。また、補習や個別指導により学力の向上に取り組む。
特別活動	特別活動の充実	全国大会上位入賞7部門以上を目指す。	A	第24回全日本シクロクロス選手権大会第1位、第5回3×3U18日本選手権に愛媛選抜として出場し優勝、第13回若年者ものづくり競技大会電子回路組立て職種金賞、第13回若年者ものづくり競技大会旋盤職種銅賞、第28回全国高等学校ロボット競技大会第3位、技能五輪全国大会電子回路組立て職種高校生の1位、第8回中高生国際Rubyプログラミングコンテスト優秀賞、第16回民家の甲子園全国大会優秀賞、建設産業人材確保・育成推進協議会主催「高校生の作文コンクール」最優秀賞、同優秀賞と10の上位入賞を果たすことができた。	練習環境の整備や、トレーニング設備の充実により、全国上位入賞を目指した日々の練習や技術向上に取り組めるようにする。
工業指導	社会貢献の充実	「松工ものづくり社会貢献プロジェクト」として、ものづくりを通じた社会貢献を各学科一つ以上行う。	A	8学科とも、「課題研究」を通して、一つ以上の社会貢献を目指した活動を実施している。また、地域との連携を図ることで、生徒達への社会貢献に対する意識が高まっている。	「松工ものづくり社会貢献プロジェクト」に継続して取り組み、内容を充実させる。
人権・同和教育	人権教育の充実	いじめ発生数0件を目指す。	B	ホームルーム活動等を通して、人権教育の視点から、いじめ問題の根底にある人間関係の在り方を考えさせ、向上につながった。	松工人権宣言（仮称）の理念に基づき、いじめ発生数0件を目指す。
環境整備	奉仕活動の充実	各クラス・部・科で、年1回以上の奉仕活動を行う。	B	クラスの88%、文化・生産・奉仕的な部・同好会等の85%、体育的な部・同好会の91%、学科の100%が実施した。全体では89%の実施率である。	校内の清掃活動を活性化させて清掃の習慣を付けることで、校内外での自主的な活動につながる意識を高める。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。